



新年のご挨拶

あけまして おめでとう ございます



皆さまには、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の動きを振り返りますと、新型コロナウイルス感染症により、基幹産業である観光業や農林業をはじめとする町の経済は大きな影響を受け、かつて経験したことがないほど落ち込みました。

町では、新型コロナウイルス禍に関連した国、県並びに町独自の緊急支援策を取りまとめた補正予算を5月、6月、7月開催の町臨時議会において決定し、営業を自粛された事業者へは「感染拡大防止支援金」を支給、国が実施する雇用調整助成金申請事業者に対しては、助成金交付額の10%を「事業主向け雇用維持支援金」として支給するなど、町民の暮らしを守り、経済回復のための施策を実施しました。また、現在、町内の全小中学校に校内LANを整備しているところであり、当初の予定を1年前倒しし、3月末までに児童生徒に1人1台タブレットを配置します。

こうした中、県内自治体では初めて、PFI手法による新婚や子育て世帯向けの賃貸住宅「黒田原地区定住促進住宅」の整備を開始し、令和4年1月の入居開始を目指

しています。また、増加傾向にある空き家1棟を「サテライトオフィス」として県内の自治体で初めて総務省の「お試しサテライトオフィス」に登録し、新たな社会に対応する取組みを始めました。

全国的に新型コロナウイルスの感染拡大が続く、予断を許さない状況ではありますが、町内においては感染が拡大することなく穏やかな新年を迎えられますのも、町民や事業者の皆さまの感染拡大防止の取組みのおかげと感謝申し上げます。

さて、本年は、第7次那須町振興計画後期基本計画の初年度となります。将来像である「みどり輝き活気と笑顔あふれるまちふるさと那須」のため、町民の暮らしに関する分野では、定住促進、福祉、教育ICT化の促進、子育て支援を重点的に進めていきます。

経済分野では、新型コロナウイルスの感染予防を徹底した観光や農林業の振興のほか、私の公約である「地区別再生計画」の推進を念頭に、町内を4つの地区に分け、地域の特色を生かした活性化事業を推進します。

ポストコロナという新たな時代を見据え、経済再生のための施策を着実に推進し、行政と町民が一体となった持続可能で魅力あるまちづくりに全力で取り組んでまいりますので、皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

結びに、この1年が皆さまにとって辛多き年となりますよう心からお祈り申し上げます。新年の挨拶いたします。

那須町長

平山幸宏